

北極大陸

ARCTIC CONTINENT

2015.MAY 無料
FREE

6

不死の宴
栗林元

わが手は翼 われは鳥
弾射音

機械恐竜現る！の作り方
murbo

不死の宴

(一) 承前

続きを読む

控の部屋は十畳ほどの洋間で白い漆喰の壁と天井に囲まれていた。研究所の別棟の地下三階である。自然光はいつさい差し込まず、電球の人工光で照らされた部屋で、温度も一定に保たれている。姫巫女の寝所に隣接し、姫巫女の客間であり食事の間でもある。彼女は関係者以外とは面会しない。

栗林元 Kuribayashi Hajime

機械恐竜現る!の作り方

murbo

第6回 F-95J,F-95J/2

続きを読む



わが手は翼
われは鳥

学校から帰って宿題をし、ごはんを食べてお風呂にはいつてから、信也は哲郎が貸してくれた、夢を自由に見る訓練の本をけんめいに読んだ。塾があつて夜がおそくなった日は、いつも寝る時間になつてもおきつづけていて、ただひたすら読みつづけた。

続きを読む



刺青の薔薇
栗林元 作品集
薔薇の刺青
栗林元
Genji Katsuzawa

発売中!



<http://www.amazon.co.jp/dp/B00RQ5LMQ8>



パッチワールド
弾射音
発売中!



<http://www.amazon.co.jp/dp/B00O5WSU7E>

学校から帰って宿題をし、ごはんを食べてお風呂にはいってから、信也は哲郎が貸してくれた、夢を自由に見る訓練の本をけんめいに読んでみた。塾があつて夜がぶそくなつた日は、いつも寝る時間になつてもおきつづけていて、ただひたすら読みつづけた。ゲームもいっさいしなかつた。本は子供が読むにはむずかしすぎて、おなじ箇所をなんどもくりかえし読まなければならなかつた。それでもよく理解できなくて、信也はやつとすこしだけ理解できた範囲で、ベッドに横になつてからその方法をためしてみた。

でも、夢を自由に見ることはいつこにできなかつた。朝起きても、夢をぜんぜんおぼえていないこともあれば、たとえおぼえていても、空を飛ぶ夢などではなくて、でたらめな、とりとめのない夢だつたりした。見たい夢を見ることはどうしてむりに思えた。

哲郎の夢も見た。手術が失敗して、手術室でお医者さんたちがベッドに横たわつた哲郎を中心にして、大さわぎをしている夢だ。それを手術室の外からながめながら、どうしてやることもできなくて、たからおろして泣いている夢だつた。決してそんな夢を見たわけではなかつた。とても不吉な感じがした。自分がそんな夢を見ること、哲郎の手術が失敗する可能性がますます高くなっていくような気がしてたまらなかつた。

ある日、先生が連絡した。相沢哲郎くんの手術は明日おこなわれることになりました。それから数日はだめですが、回復したらみんなでお見舞いに行きましよう。

それを聞いて、信也はあせつた。手術が失敗したらどうしよう。ぼくがあんな夢を見たからいけないんだ。どうしても、手術の前に哲郎に会つて、よこんで子分になるとしらせなければならぬと思つ

た。

放課後、信也は家には帰らないで、まっすぐに哲郎のマンションに行った。

インターホンを鳴らすと、哲郎のおかあさんの声が聞こえてきた。哲郎くんの友だちの吉田信也ですと告げると、すぐにドアがひらいた。

「まあ、このあいだのお友だちね。いらしてくれてありがとう。でも、残念だけど、哲郎は入院してていないのよ」

「知つてます」

信也は必死に言った。

「それから、先生から哲郎くんの手術があしただつて聞きました。手術の前に、どうしても会いたいです。お見舞いさせてください。どこの病院か、教えてください」

哲郎のおかあさんはすごくこまつた顔になつた。

「うれしいわ。でもね、あしたの手術にそなえて安静にしてるから、だれも面会できないの。わたしも病院にいてもしょうがないから、いまいつたん帰ってきたところなの。ごめんなさいね。手術がおわつたら、ぜひお見舞いに来てね」

「でも」

信也は必死にくいさがろうとした。でも、哲郎のママは疲れた顔に悲しそうな表情をうかべたまま、首を横にふるばかりだつた。

「ほんとうに、だれとも会つてはいけくないの。お医者さんに止められてるの。吉田くん、だつたわね。あなたが来てくれたことは哲郎に伝えておくわ。約束する。だから、とてももうしわけないんだけど、きょうはこのままおうちにお帰らなさい」

それ以上はなにも言うことができなかつた。信也はうなだれ、すこごと家に帰つていった。夜になつて、信也はあの本をふたたびひらいて読

みはじめた。わからないところがいっぱいあるが、それでも理解できたところだけをつなぎあわせて、夢を自由に見る方法を頭のなかでおさらいしながら、ベッドにもぐりこんだ。

目をつぶつても、なかなか眠くならなかつた。自分が空を飛んでいるようすをなんども想像しながら、信也は眠くなるのを待った。それでもなかなか眠くならず、時計の秒をききむ音だけが部屋のなかにいやに大きくひびくのが聞こえるのだった。



7

弾射音
Dan Shannon

気がつく、信也は廊下にいた。

目の前に哲郎が立っている。信也をまっすぐに見て、ニヤリと笑う。教室からは、クラスのみんなの声が聞こえてくる。いまはどうやら休み時間らしい。

「吉田、夢はちゃんとあやつれるようになったか？」
哲郎が信也にきいた。信也はうしろめたさを感じながらうなだれた。

「ううん……ごめん。せつかく本を貸してくれたのに」

「いいよ。気にするなよ。あの本はおまえにはむずかしいかな」

哲郎がそうだったので、信也はすこしホッとした。それから、どうしてこんなところに哲郎がいるのだろうと思った。

「相沢くん、手術するんじゃないの？」

「手術だつて？そんなものやつてられるか。そんなことよりも、うんと大事なことがあるんだ」

「手術しないと死んじゃうよ」

「手術したつてどうせ死ぬんだよ。それより、どうしてもおまえに会わなくちゃいけなかったんだ。だから、病院をぬけだしてきた」

「大事なことつて、なに？」

「聞いておどろくなよ。とうとう空を飛ぶ方法を見つけたんだ！」

「すごい！」

信也は目をみはった。
「だからさ、手術して死んじゃうまえに、おまえに教えておいてやろうと思つてさ」

「練習しださ。がんばれば、だれだつて空を飛べようになる」

「どんな練習？」

信也は哲郎を羨望のまなざしで見つめた。心がわ

くわくしてくる。

「いつしようけんめい足踏みすると、そのうちに足が地面からはなれて、からだに宙に浮きはじめるんだ。そこまでいつたらもう簡単さ。空気の上に寝て、両手を横にひろげて、あとは前へ向かつて飛ぶだけだ」

信也は興奮した。ほんとにそんなことができるのだろうか？でも、哲郎のいうことなら間違いはないと思つた。

「見てな」

哲郎は廊下のまんなかの黄色い線の上で足踏みをはじめた。ひと足ひと足、床をしつかり踏みしめる。木の床板がきしんだ。

ゆつくりと、右足と左足を交互に床へしつかりと下ろしつづける。踏みしめた反動で足は高く上がり、膝が直角に折れる。

そのうちに、足踏みのスピードが上がりはじめた。たいへんなことになりそうだと信也は思つた。

足踏みはどんどんめまぐるしくなり、目にも止まらぬスピードになる。

信也は両手に汗を握りしめて哲郎を見まもつた。

もうほとんどかけ足に近い。はじめてから数分になるだろうか。哲郎は全身汗だくだ。

そろそろ休み時間も終わるんじゃないかと思つたころ、哲郎が踏みしめた右足が急にそれまでよりさらに高く上がり、つぎに下ろされた左足は床すれすれのところでさつとはね上がり、右足より高く上がった。

次の右足はもっと高いところではね上がった。床から数センチはなれている。

信也は両目をまんまるに見ひらいた。
三センチ、五センチ、十センチ……哲郎のからだは足踏みをくりかえしながらゆつくりと上昇してい

く。

信也があつげにとられているうちに、哲郎は足踏みのスピードを落とし、ひたいた汗をシャツのそででぬぐつて信也のほうを向き、ニッと笑つた。

足踏みがやんだ。哲郎はもう三センチも浮き上がっている。そこで哲郎は空中にはらばいになり、平泳ぎのように両腕で空中をかいてあぶなっかしく飛びはじめた。

哲郎が廊下を折れ曲がつて飛び去るのをぼう然と見送つていると、きゅうにベルが鳴り、信也ははつとわれにかえつた。

哲郎ははじめたときとはくらべものにならないはやさで廊下の反対方向からもどつてきて、信也の目の前で床におり立つた。

哲郎はふたたびニッと笑うと、なにもいわずに教室へはいつた。哲郎はあわてて彼のあとを追つた。

つぎの授業はまったくうわのそらだ。信也はきゅうに先生にあてられてしるもどろになり、しかるれた。まっ赤になつて席につくと、哲郎は信也をふりかえつてニヤリとしてみせる。それからすぐに真剣な顔にもどり、ぴんと立てたひとさし指をくちびるに当てる。先生にはげつたいいなというところだろう。四十五分間、信也は教科書をにぎりしめてしわくちやにしながらけんめいに興奮をおさえた。哲郎が入院しているはずなのに学校に来ていることについて先生がなにもいわなかつたことにもぜんぜん気がつかなかつた。



続く

前回までのあらすじ

昭和十八年九月。理研の病理学者・如月一心は、陸軍の「三号」と呼ばれる極秘攻防計画に招聘され長野県上諏訪町にやってきた。駅に出迎えた守矢竜之介少尉から聞かされた計画は、古代から諏訪地方に伝わるミシャグチ信仰に由来するものだった。如月を宿に送った隆之介が陸軍登戸研究所諏訪分室に戻ると、そこでは三号研究の被験者・近藤上等兵が獣化して暴走していた。ミシャグチの神降ろしが適合せずミシャグチ憑きとして人狼になっていたのだ。竜之介、公彦、みどりの守矢兄妹の連携で辛くも人狼は倒したが、日没と同時に目覚めた姫巫女・美沙は自分の生んだ眷属の死を察知して深い憂いに沈むのだった。

控の部屋は十畳ほどの洋間で白い漆喰の壁と天井に囲まれていた。研究所の別棟の地下三階である。自然光はいっさい差し込まず、電球の人工光で照らされた部屋で、温度も一定に保たれている。姫巫女の寝所に隣接し、姫巫女の客間であり食事の間でもある。彼女は関係者以外とは面会しない。ましてその特別な食事は原則として彼女一人である。今回、その食事に守矢竜之介が同席するのは異例中の異例だった。

部屋の中央には白木のテーブルが置かれ、その前に竜之介が座っている。テーブルに向かって座るといふよりは、祭壇に向かって座っていると云った方がふさわ

しかった。それは、テーブルに置かれた食事のせいでもあろう。

テーブルの上には白い御神酒徳利が一對置かれている。そして白い杯が一つ。さらに小皿が三つ並んでいて、それぞれに鹿の生肉、山菜、カリンの実の砂糖漬けが三切れ盛りつけられ、白木の箸が添えられている。神に捧げる儀式的な御物に見えるが、これが姫巫女の食事であった。

姫巫女のようにミシャグチの神を下ろし、永遠の命を得たとしても、このような質素で少量の食事に、生きていく楽しみはあるのだろうか、と竜之介は思った。

部屋に、しゃりん、という神楽鈴かぐらすずの涼しげな音がして竜之介は姿勢を正した。扉が開くと女官が現れ「姫巫女様がまいります」と謡うように告げて脇に下がった。

姫巫女・美沙が入ってきた。本日は男装だった。体にびびったりと合わせて直して直した陸軍の軍服が、その女性らしさを逆に強調し、艶やかな雰囲気さえ漂わせている。本来は地味な鈍後髷ぬちごまげの黒髪が、かえってその顔立ちの伶俐な美しさを際立たせている。竜之介は一瞬息をのみ、そして面を伏せて頭を下げた。ミシャグチの眷属である姫巫女には常人を魅了する威厳と美

しさがあつた。まるで、犬が嬉々として人に従わざるをえないようだと、竜之介は思った。常人ならばだれでも美沙にひれ伏してしまうのだ。

「姫巫女さま、おはようございます。ご機嫌うるわしゅう」

美沙は、「ご機嫌はうるわしゅうないぞよ。不快な夢を見た」とわざと時代がかつた言葉遣いで言い皮肉な苦笑を浮かべた。そして竜之介の表情を伺いながら「近藤に何かあつたのか」と聞いた。

「亡くなりました。神降ろしがうまくいきませんでした」

第四回 栗林元

Kuribayashi Hajime

(一) 承前

たのですが、そのまま獣化が始まって人狼になりました」

「殺したのだな」

「はい、私どもで」

そうか、とつぶやくと、美沙は姿勢を正して目を閉じた。しばらく黙祷をした後、杯に手を伸ばす。竜之介が御神酒徳利を取り上げて杯に注いだ。徳利からは赤黒い液体が流れ、白い杯に映えた。鉄の匂いがする。血であった。

美沙の白い顔の中でひときわ鮮やかな紅い唇に白い杯が触れる。一口飲んだ美沙が、「これはいつもの混ぜものではないな」と言った。

美沙の主たる食事である人血は、この研究所の関係

づいたのだった。

不死の宴 続く

者の定期的な血液検査などで生じた検体血が供給元である。むしろ美沙に供給する血液を採取する際にすでに健康診断をサービスしているのが実体だ。そのため常に数人の血が混じった混合血で、これは美沙のようなミシャグチ神の眷属にはおもしろいものではなかったが、かつての神話時代のように生け贄でまかなうこともできない。これは時代の要請であった。

「童之介、これはおまえの血だな」と美沙が言った。そしてやや青ざめた童之介の顔を見つめ、「近藤の死で、自分を責めることはならぬぞ」と言った。

童之介は、「ありますがどうございます」と言っただけで頭を垂れた。美沙の苦痛に対するささやかな贖罪の気持ちで、童之介は自分の血を捧げたのであった。その気持ちがあまのり通じていることがうれしくなる。そして自分の血が、雛人形のように上品な美沙の紅い唇を通して飲み込まれ、その白くて細い喉が、嚥下に合わせてゆっくりとうねる様のエロティックな美しさに思わず息をのみ震えた。そして自分のような、守矢一族の長子は代々姫を守護するのだが、同時に姫に魅了され呪縛されているのかもしれないと思った。

「私の生んだ眷属から人狼が出たのは初めてじゃ」

「私も人狼については口伝で伝え聞いたのみでした」

「私は子供のころに一度見たことはある。普段は牢に入っておった。戦国の頃はミシャグチの眷属を使うことが多くての。稀に神降ろしがうまくいかずに人狼になる者がおつたのじゃ。恐ろしい姿ではあったが、彼らは私たちとは違い、太陽の下でも生きることができた」

「明日、理研からきた如月という学者がこの研究所に参ります。早速、調べることにしましょう」

「このミシャグチの力とは、何なのであるのか」と美

沙は呟いた。

童之介は驚いたように美沙を見つめ、「姫……」と言った。

美沙は、「二人の時は美沙でよいぞ」と言った。そして「人であった時の名で呼ばれたいときもあるのじゃ」と言った。美沙は、未だに人であった頃に郷愁を感じているのである。それが童之介には新鮮であった。

美沙は再び、ミシャグチの力とは何なのでしようね、と言った。時代がかつた言い方が消えていた。

童之介は、ミシャグチの力とは一種の風土病ではないかと考えていた。ミシャグチの力を得た者が、陽光の下で生きられぬ定めと引き替えに獲得する超人的な運動能力も不老不死も、激烈な「症状」ではないか。それを人の力で制御し、兵士として活用するのがミロ計画であった。

この力を伝え続ける美沙は、国家により庇護を受け、死ぬことすら許されぬ高貴な囚人でもあるのだった。

「美沙さまは、この姫巫女のお勤めに疲労を感じられているのですか」


美沙は、童之介を見つめ、「おお、あの童坊が、私の気持ちをお察してくれているのかい」と言っただけで微笑んだ。美沙は童之介の生まれる何百年も前から老いることなく生きている。童之介を赤子のころから知っているのだ。童之介は美沙にあやされていた記憶すらある。今では、童之介と美沙が並ぶと兄と妹のように見えるかもしれない。

美沙は童之介を見つめ、「ありますが」と言った。そして、「私にも何らかの形で死期はくると思うの。それを信じている」と言った。

童之介は恐縮して頭を垂れた。そして、美沙を守るという自分の使命が、まさに自分の願いでもあると気

※ 銃後鬚・太平洋戦争中、パーマネントを自粛せざるを得なかったため、パーマや鍔ツバを使わずに手軽に結えて洋装にも和装にも合うという髪型として奨励された。

この物語はフィクションであり登場する地名・人名・企業名はすべて架空のものである。

The image shows two model F-95J fighter jets in flight, viewed from a high angle. The jets are painted in a green and tan camouflage scheme with red circular insignia. The jet in the foreground is numbered 495, and the one in the background is numbered 487. They are flying over a detailed model of a city with buildings and streets.

機械魂現る!の作り方

第6回 F-95J,F-95J/2

murbo



F95J

F-95はF-86の更新として計画された戦闘機。後退翼専用の設計の機体で超音速が期待されたが、エンジンが非力で音速突破は難しかった。

A～C型まで製造され、航空自衛隊でも独自の改良が施されたC型が採用された。

超音速を目指した設計のために航続距離が極端に短く、通常の作戦行動でも予備タンクが必須だった。

A、B型は昼間戦闘機で、B型は改良されたエンジンを搭載し出力向上と安定性を高めた。C型は機首にレーダーを装備し全天候型になった。しかしレーダーの性能が低く、能力は限定的なものになった。

A型配備され間もなくB型が製造された為にF-95の全生産数の殆どがB型を占める。

CとJ型は生産途中で主翼後退角を45°から55°、前縁を6インチ、翼端を3インチ延長し、大型の境界層板を左右に計2枚取り付けている。これにより最高速度は大幅に上がったが翼端の失速が激しく、結果として作戦行動中の速度はそれほど向上しなかった。

超音速機として期待されたが、高高度の戦闘、航続距離でF-86Fに劣り、更新は限定的に終わった。

総生産数は2426機、そのうち約800機がJ型として日本で生産された。



F95J



F95J

【F-95J】レイピア

全天候型のC型を日本の事情に合わせ対地攻撃、空中給油能力を外している。基本性能はC型とほぼ同一。

元々F-95は超音速を優先した設計のために航続距離が極端に短く、通常の作戦行動でも予備タンクが必須だった。期待された能力を発揮することもなく、F-86の改良型であるF-86Fが採用された。それでも機体の対弾性能の高さは評価され、期間は短かったが支援戦闘任務に活用された。

【F-95J/2】

怪獣迎撃用に計画されたが、実際に配備されたのは前期型であるF-95Jを後期型のF-95J/2改造キットとAMR-1のコントロール装置で追加改修したもの。分類上はF-95J/2だが制式ナンバーは与えられていない。

2改造キットのは主翼端の延長と境界層板の追加などで主に作戦基地での現地改修を想定している。生産数は50セット。



F95J/2 と AMR-1



【F-95J/2】

全幅:10.23m

全長:13.21m

全高:4.57m

主翼面積:30.4m²

空虚重量:6,190kg

総重量:12,250kg

エンジン:J65-W-7 1基

推力:34.7kN

最大速度:604knot

実用上昇限度:12,400m

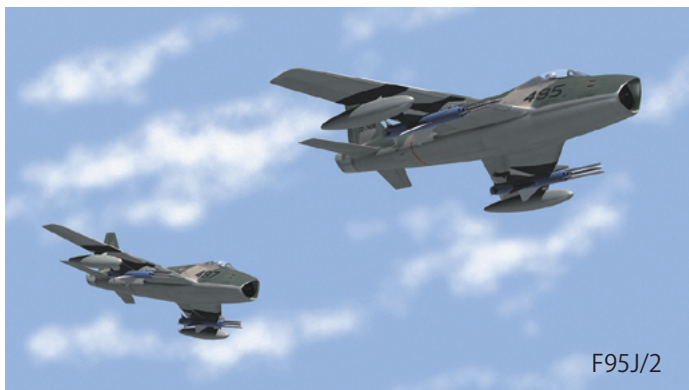
航続距離:1,080 km

固定武装:20mm 機銃×4

武装:ロケット弾ランチャー x2

ドリルロケット弾 AMR-1 x2

乗員:1名



F95J/2

最高速度の向上を期待したものであったが、作戦行動中の速度はそれほど向上しなかった。境界層板の効果で安定性は増した。



F95J/2

【AMR-1 (63式対獣弾)】
AMR-1は、固体ロケットモーターで推進するロケット弾。前半部分のドリルで目標を貫通し内部で爆発する。F-95J/2の左右パイロンに計2発搭載し、巡航速度は秒速300m、最大射程は40km程度。
1961年5月に東海地方の山間部に出現した怪獣迎撃に投入された試製対獣ロケット弾改良し、63年に正式化された。それ以降年間5発程度発注があったが目的が限定され、防衛予算削減の動きもあり69年には他の対地ミサイルで代用される事となった。



パッチワールド

人格シミュレーションとなった村田は独自の理論を実証するため、恒星間宇宙船を乗り取りヒアデス星団で実験を再開する。地球を破壊した謎の結晶体による地球再生の可能性を突き止める。……クリス・ボイスの名作『キャッチワールド』へのオマージュ。第一回 SF 新人賞候補作を加筆。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00O5WSU7E>



クラフトロン 弾射音短編集 SF 編

「クラフトロン」…夫のテリーは旅先の地球で他の観光客もともととも消息を絶ち、私は軍人として捜索を命じられる。変異に地球は飲み込まれ、私はついにテリーの真実を知る……。他三篇。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MP4I8JE>



今度、死ぬことになった 弾射音短編集 ミステリ編

「今度、死ぬことになった」…私は大学時代の友人から、「今度、死ぬことになった」という文面の手紙を受け取る。そして死んだ。彼は恨みを持つ女のマンションに爆弾を仕掛けたと遺言を残す。……他二篇

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MOZXM22>



理由なき朝食 弾射音ショートショート集 Vol.1

夜中の三時、ママはぼくをいきなり起こす。真顔で朝食を食べなさいと言うのだ。パパとお姉ちゃんはパニックだ。そのうちに、みんなは泣きながら真夜中の朝食を始める……。他 24 編

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MUQJGT8>



ぱおにゃん？ 弾射音ショートショート集 Vol.2

暇だったので、象と猫のハイブリッドを作ってしまった。巨大な象猫は元気に「ぱおにゃん！」と鳴く。妻は今すぐ捨ててきなさいと言う。ぼくはいったいどうしたらいいのだろうか？……他 24 編

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MW4ZC78>



デイズ・オヴ・ホミサイド

殺人者が犯罪ではない近未来。簡単に殺し合う人々。加藤芳雄はある日、吉田美枝子を地下鉄内で殺す。政府のコンピューター内に蘇った吉田美枝子は、逆に芳雄を殺そうと反撃に打って出る。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MKDQSLA>



彼女の手の中のバービー

彼女はいきなり僕の顔に化粧をした。僕は彼女の手で、どんどん女になっていく――美人女子大生と女装少年の、奇妙な愛のかたち。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00GWY6ISQ>



レイルウェイ、ターミナル、そして故郷へ

僕は栢桶職人。ある日、大変なことに気づいてしまう。いどうるが手許にないのだ。人は、いどうるなしでは人は生きていけない。僕は、いどうるを取り戻すため、故郷へ向かって旅を始める。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00MKCJPR0>



栗林元既刊本

薔薇の刺青（タトゥー） / 自転車の夏

日本人と結婚して永住権を手にしたマリアンは、どこへ消えたのか。昭和六十年の名古屋市を舞台に、外人タレントプロダクション、偽装結婚、など、裏社会を描いたハードボイルド作品。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00RQ5LMQ8>



神様の立候補 / ヒーローで行こう！

西本は広告会社の営業。彼に下された使命は、新聞用選挙広告を法定回数五回分を全て東海新聞の扱いで獲得すること。ところがその候補者は、「龍神様のお告げで立候補を決意した」というおばあちゃんだったのだ。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00IB9F4OE>



1988 獣の歌 / 他 1 編

気がつくと、「獣」は新生児の心の中にいた。今まさに殺されようという瞬間だった。間一髪、肉体から抜け出した獣は、少女の心に飛び込んでいた。しかし無理な跳躍で、多くの記憶を喪失してしまう。他 1 篇

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00KK5I61U>



盂蘭盆会●●●参り（うらばんえふせじまいり）他 2 編

18歳を目にした仁は「明日のお参りにはお前も来なさい」と、父から告げられる。話によれば長男は兄弟の中でも比較的早く「お参り」に連れていかれるのだという。果たしてそのお参りとはどのようなものなのか。他 2 篇

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00NCD05MK>



murbo 既刊本

宇宙キッド 怪獣図鑑 魔人ゴース編

架空の連続TVアニメーションである、宇宙キッドに登場する敵怪獣などをカード風のレイアウトで紹介する図鑑。

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00EM4ST80>



宇宙キッド 怪獣図鑑 ドーモル団編

架空のTVアニメ、宇宙キッドに登場する敵怪獣のカード風のデザインで紹介する図鑑。第二巻

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00F0CFGVQ>



戦え！宇宙キッド 怪獣図鑑 超電子頭脳ズレイノウン編

架空のTVアニメ、宇宙キッドの敵メカ怪獣をカード風で紹介した図鑑。第三巻

<http://www.amazon.co.jp/dp/B00HRW3ELG>



電子パブは 広告を募集 しています。

一枠 55mm x 55mm。
一回料金 1,000 円
年契約 10,000 円
240dpi 以上の解像度、
cmyk モードの
psd フォーマットのみ受付けて
います。
詳細と受付は
denpub@1001sec.com へ。

